



立山砂防工事専用軌道(通称「トロッコ」)には、富山県と立山カルデラ砂防博物館が主催する「立山カルデラ砂防体験学習会」など工事関係者以外の方々が年間約2千人乗車しています。立山砂防事務所ではトロッコ乗車中の事故発生時に迅速な対応を図れるよう事故対応訓練を毎年実施しており、本年は平成21年から15回目の訓練となります。

訓練では、過去の軌道上の事故事例や安全管理の取り組み・事故発生時の対応など安全管理上の知識習得を目的とした講義、及び、レスキューカート等による救助実技を実施し、関係機関及び軌道関係者など28名が参加しました。

日時：令和5年6月20日(火) 13:30~16:00

場所：(講義)事務所2F会議室

(実技)訓練軌道 0.35km付近

参加機関：立山砂防事務所
(公財)立山カルデラ砂防博物館
軌道運行受注者 関係機関

第1部：講義(座学)



マニュアルから学ぶ!

- ①運行中の事故・被災
- ②安全管理の取り組み
- ③乗車中の事故対応

第2部：実技訓練

想定被害：車両に落石が直撃し負傷者が発生

- ①担架・レスキューカートの組立説明
- ②搬送手順の説明
- ③実技訓練



落石発生

負傷者の搬送訓練を実施
搬送手順や留意点を学ぶ

実技訓練の様子



①人車から負傷者搬出

②レスキューシート⇒担架



③担架搬送

④担架⇒レスキューカート



⑤レスキューカート搬送

⑥レスキューカート
⇒モーターカー

